川崎市社会福祉協議会がランティア活動振興センター

## 2021年 秋号

# 地域福祉情報バンク通信

季刊 (No.52)

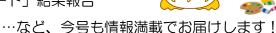
発行:川崎市社会福祉協議会ボランティア活動振興センター 地域福祉情報バンク

川崎市中原区上小田中6-22-5 川崎市総合福祉センター 6階

電話:044-739-8720/FAX:044-739-8739/Email:jyoho@csw-kawasaki.or.jp

### 2021年秋号の内容は…

- ★福祉教育について
  - ★「オープンダイアローグ」に関する図書・DVDの紹介
    - ★「新型コロナウイルス感染拡大の影響に関するアンケート」結果報告
      - ★新着図書・DVDの紹介





# 福祉教育とは ~地域共生社会の実現に向けて~

「福祉教育」は、身の回りの人々や地域との関わりの中で、どのような福祉課題があるのかを学び、 「ともに育ち、ともに生きるための福祉のこころを育む」ための取り組みです。多様な生き方に触れ、様々な福祉 課題を他人事でなく、我が事として捉え、皆で考え、行動する力を養うことを目的としています。

生活のしづらさ(福祉課題)は、本人の疾病や機能障害などの問題ではなく、様々な環境(社会のバリア)に よって左右される、地域社会全体の問題です。これは高齢者や子どもなど、全ての人に適応できる考え方です。 設備面などの環境を整えるだけでなく、周囲の理解と、一人ひとりにあったサポートを考えることが大切です。

## 福祉教育研修 ~ 郵便局が地域に寄り添い、ともに歩むために ~

福祉教育は今、学校教育の中だけでなく、地域の皆さんの生涯学習や企業の職員研修などでも、幅広い視点で学 ぶ機会が増えています。川崎市内の郵便局では、今年度、福祉教育オンライン研修を川崎市社会福祉協議会と連携 して実施しています。今回、研修の企画に至った背景や目的などを、川崎京町郵便局の浅古局長に伺いました。

#### Q:福祉教育研修を企画したきっかけは?

A: 昨年、コロナ禍で社協が始めた、「とどけよう かわさきマスク」で「マスク回収ポスト 設置」に協力したことがきっかけです。もともと認知症サポーター研修をおこなってい ましたが、福祉教育という取り組みを知り、一緒に何かできないかと考えました。



A: 郵便局をご利用される多くのお客様のうち主に障害をお持ちの方や高齢の方に対しての 最適な応対方法を習得することにより、CS(顧客満足)意識をより向上させるととも に、川崎市内の郵便局におけるCSR(企業の社会的責任)およびSDGs(持続可能な 開発目標)の推進を目的としています。



A:市内95局全ての郵便局を対象におこなっており、参加した人は各エリアに戻り、学ん だことを伝えています。コロナ禍においてもオンラインで継続的に研修をおこなうこと ができており、今後も継続していくことで業務に活かされる機会が増えると思います。

第2回目(7/13実施)…高齢者の理解(身体的特徴、配慮すべき点、外部機関との連携) 第3回目(9/16実施)…障害について(障害の特徴、配慮すべき点、当事者の話など)

研修内容(オンライン研修 全6回の予定 ※第4回目以降の内容は未定) 第1回目(5/18実施)…福祉とは心のバリアフリー、社会福祉の現状



川崎京町郵便局 浅古局長



オンライン研修の様子





福祉教育についてのご相談は、川崎市社会福祉協議会ボランティア活動振興センター・ 各区社会福祉協議会までお気軽にお問い合わせください。





# 「オープンダイアローグ」に関する図書・DVDの紹介



~地域福祉情報バンクで貸出しています~

フィンランド発祥の「オープンダイアローグ」という精神療法をご存じでしょうか?

患者や家族・医療者などが複数で対話をおこなうことによって、統合失調症などを回復させていくという治療法のこ とで、「開かれた対話」という意味があります。

日本の精神医療は入院や薬による治療が主流となっていますが、フィンランドでは、「オープンダイアローグ」の 導入により"入院期間の短縮・薬の減少・再発率の低下"などが報告されているそうです。また、うつ病や引きこも りなどの回復にも効果があると言われています。

「オープンダイアローグ」の実践のコツやその効果について知り、新しい精神医療の可能性を感じてみませんか?

## オープンダイアローグとは何か

オープンダイアローグの第一人者セイックラ 氏の論文と、斎藤環氏の丁寧な解説が融合。

生き生きとした事例、具体的な ノウハウ、噛み砕いた理論紹介 で、オープンダイアローグの全 貌がわかる。(斎藤環:著/

医学書院/2015年発行)



## マンガでやさしくわかる オープンダイアローグ

オープンダイアローグを実践するうえで重要な3 つの要素のほか、「開かれた対話」は、どのように 行われていくのか? オープンダイアローグを行うセ

ラピストには、何が必要なのか? などを、わかりやすい解説とマンガ をとおして紹介。(向後善之・久保 田健司:著/日本能率協会マネジメン トセンター/2021年発行)



#### きんが

## やってみたくなるオープンダイアローグ

6編の物語と4章の解説で構成。どうしたら対 話を続けることができるのか、なぜ計画を立て てはいけないのか、調和を目指さ ないとはどういうことか。「対話

さえ続けば、あとはなんとかな る」――これが本書の最大のメッ セージです。(斎藤環:解説・ まんが:水谷緑/医学書院/

2021年発行)



## 感じるオープンダイアローグ

「オープンダイアローグとは何なのか?」

「ただ対話するだけで、どうして こころが癒やされるのか?」

「どのようにして対話の場が生まれ るのか?」など、様々な疑問に回答 する。(森川すいめい:著/

講談社現代新書/2021年発行)



## 対話のことば オープンダイアローグに 学ぶ問題解消のための対話の心得

オープンダイアローグは精神疾患の治療法 のひとつで、対話によって抱えている問題を 解消することを目指しています。本書はその 対話のエッセンスを、普段の思考や会話、対 話に取り入れられるよう

に、パターン・ランゲージ を用いた30の「ことば」で 紹介しています。

> (井庭崇・長井雅史:著/ 丸善出版/2018年発行)



## オープンダイアローグが教えてくれる とっても大切なこと(DVD)

オープンダイアローグでは、聴く・話すのプロセ スを繰り返し、多様なものの見方が大切にされま す。このDVDは、当事者研究、ひきこもりの支

援、アウトリーチを牽引してきた 3人が、オープンダイアローグに

ついて話し合った講演を収録した ものです。

(地域精神保健福祉機構 COMHBO/2019年発行/ 150分)



Page 2 地域福祉情報バンク通信



# 新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する アンケート結果のご報告



新型コロナウイルスの感染拡大によって、多くの方が今まで通 りの生活を送ることが難しくなってしまいました。特に、人との ふれあいを大切にする地域活動やボランティア活動などでは、活 動を自粛したり、今までとは形を変えて活動せざるを得ないとい う状況が続いています。

地域福祉情報バンクでは、令和3年4月~5月にかけて、「地域 福祉情報サイトふくみみ」に登録している462団体を対象に「新 型コロナウイルス感染拡大の影響に関するアンケート」をおこな いました。

167団体より回答をいただきましたので、一部ご紹介 します。ご協力いただきありがとうございました。

## 地域福祉情報サイトふくみみ

川崎市を中心とした様々な福祉情報を提 供しています。

川崎市内の福祉活動団体・事業所等と市 民の皆様が双方向に情報を発信・収集して いただく場を提供することに より、社会福祉活動の広がり や活性化を図ることを目的と



## 【1】新型コロナウイルスによって、具体的にどのような影響がありましたか?

- 1、団体活動やイベント(講座)などを延期・中止した…46%
- 2、活動場所が使えず活動ができなくなった…19%
- 3、参加者・利用者が減少した…11%

### 【2】今後の活動において、必要な支援があれば教えてください。 (複数回答あり)

- 1、活動場所(会議室等)の情報提供…29%
- 2、助成金・資金等の支援…27%
- 3、情報提供(支援制度や助成金等)…21%
- 4、オンラインツールの活用方法…18%
- 5、保健師や看護師などの専門家によるアドバイス…18%

## ボランティアグループ・団体等 の助成金情報を掲載しています。

川崎市社会福祉協議会HPでは、



しています。



#### 【3】どのような支援(寄付)があればよいと思いますか?

- 1、衛生用品(マスク、アルコール消毒液など)…12団体
- 2、食料・弁当容器などの寄付…8団体
- 3、支援金(運営費、家賃補助など)…8団体
- 4、三密を回避できる活動場所(アクリル板などの設置)…3団体
- 5、パソコン(機材、サポートしてくれる人材)…3団体

### 【4】活動を継続する上で気になっていること、心配なことを教えてください。

- 1、メンバーの高齢化による活動者の減少
- 2、コロナ禍での活動方法(支援が必要な人とのつながり方、情報の届け方)
- 3、徹底した感染予防法、確実で正しい情報
- 4、オンライン化による機材の確保と技術の習得への不安
- 5、活動場所の確保(人数制限、時間短縮などへの対応)
- 6、感染予防対策にかかる出費

「# Share Smile かわさき

Withコロナ地域福祉活動ヒント集」を、 配布しています。ぜひご活用ください。

「団体活動に影響があった」との回答が全体の9割以上となりました。様々な理由で、今まで通りの活動ができ なくなり、残念ながら団体活動の休止や解散に至った団体もありました。三密回避という制限のある中で、活動場 所や活動資金の確保に苦労をされている団体が多く、また、突然のオンライン化に戸惑っているという声には、何 かしらの支援の必要性を感じます。

今まで経験したことのないコロナ禍という状況の中で、他団体はどのように活動しているのかを 知り、自分たちの活動の参考にしたいというご意見が多くありました。情報バンクでは今後、地域 活動・ボランティア活動に取り組んでいる皆様の活動再開・活動継続に役立つ情報を、お伝えでき るようにしていきたいと思っています。



Page 3 2021年 秋号



# 新着図書の紹介



#### 【図書】(書名/著者・編者名/出版社)

- ●絶望しないための貧困学/大西連/ポプラ社
- ●Passion ケアという「しごと」/白崎朝子/現代書館
- ●老いの福袋 あっぱれ!ころばぬ先の知恵88/樋口恵子/ 中央公論新社
- ●ボケ日和 わが家に認知症がやってきた!どうする?どうなる?/長谷川嘉哉(著)・矢部太郎(イラスト)/かんき出版
- ■マンガ認知症/ニコ・ニコルソン・佐藤眞一/筑摩書房
- ■認知症とともにあたりまえに生きていく/矢吹知之・ 丹野智文・石原哲郎/中央法規出版
- ■マンガで解決 親の介護とお金が不安です/ 上大岡トメ(著)・黒田尚子(監修)/主婦の友社



- ●誰も書かなかった介護現場の実態/宇多川ちひろ/彩図社
- ●夫が倒れた!献身プレイが始まった/野田敦子/主婦の友社
- ●マンガでわかる 介護職のためのコーチング/三田村薫(著)・ 吉田美紀子(イラスト)/誠文堂新光社
- 実践! 介護フットケア 元気に歩く「足」のために/ 西田壽代(監修)/講談社
- ●マンガで分かる オーラルフレイル/大久保満男・飯島勝矢/ 主婦の友社
- ●つながり続ける こども食堂/湯浅誠/中央公論新社
- ●ある日のこども食堂"ちょっと気になる子"との関わり/ NPO法人全国こども食堂支援センターむすびえ
- ●保健室から見える親が知らない子どもたち/桑原朱美/ 青春出版社
- ●どうしても頑張れない人たち ケーキの切れない 非行少年たち2/宮口幸治/新潮社
- ●シニアのための防災手帖/三平洵/産業編集センター
- ●誰一人取り残さない防災に向けて、福祉関係者が身につけるべきこと/立木茂雄/萌書房

- ●令和・アフターコロナの自治会・町内会運営ガイドブック / 水津陽子/実業之日本社
- ●災害ケースマネジメント◎ガイドブック/津久井進/ 合同出版
- ●小説8050/林真理子/新潮社



- ●ソーシャルワーカーになりたい 自己との対話を通した支援の 解体新書/芹沢茂喜・山岸倫子/生活書院
- ●ソーシャルワーカーのためのアドラー心理学 どうすればクライエントを支援することができるのか/佐藤健陽/アルテ
- ●てんやわんやのトーシツ・ライフ/中村ユキ/日本評論社
- ●子は親を救うために「心の病」になる/高橋和巳/筑摩書房
- ●Shrink 精神科医ヨワイ(1)~(5)/七海仁(原作)・月子(漫画)/ 集英社
- ●幸せになる勇気/岸見一郎・古賀史健/ダイヤモンド社
- ●大切な人を亡くしたあなたに知っておいてほしい5つのこと /井手敏郎/自由国民社
- ●みらいめがね それでは息がつまるので/荻上チキ(著)・ ヨシタケシンスケ(著・イラスト)/暮しの手帖社
- ●ぶっちゃけ相続/橘慶太/ダイヤモンド社

#### 【DVD】(題名/制作/仕様)

- ●認知症の人 本人に学ぶ〜パーソン・センタード・ケアと 認知症について考える/シルバーチャンネル/130分
- ●鳥海先生の新・始めの一歩! 身体拘束ゼロの真の意味/シルバーチャンネル/46分
- ●回復力を高める関わり方の基本/地域精神保健福祉機構 COMHBO/133分
- ●がんと生きる 言葉の処方箋/がん哲学外来映画製作委員会/ 90分

地域福祉情報バンクは平日8:30~17:00まで開所しております。毎月第4水曜日は、川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)の保守点検日のため、17:00以降に1階受付窓口での図書・DVDの返却ができませんのでご注意ください。また、12月29日(水)~1月3日(月)の間は、年末年始休館日のため、全館休館いたします。

福祉関係図書というと、重い内容や難しいものが多い印象ですが、最近は「マンガで〇〇」という本が増えています。情報バンクでも「マンガで〇〇」やコミックスなどは、気軽に読めるものとして人気があります。今号でも数冊ご紹介しておりますので、初めて挑戦する分野への第一歩としてご覧になってみてはいかがでしょうか。「地域福祉情報バンク通信」についてのご意見・ご感想などを、是非お寄せください。次号は1月5日発行予定です。(ま)



Email: jyoho@csw-kawasaki.or.jp

電話: 044-739-8720 /FAX: 044-739-8739



蔵書検索は「ふくみみ」で! http://k-fukumimi.com/



